

本市が目指すBRT

BRT (Bus Rapid Transit) の導入は、新たな交通システムの導入を通じて、『都心部での移動円滑化』の実現を目指す取り組み。本市のBRTは、従来のバスのイメージを一新する「次世代のバスシステム」で、連節バスが主に専用の走行空間を走り、より早く、より正確な時間に、より多くの人を運べるシステムを目指している。

新たな交通システムの目標

- 現状の課題解消 わかりやすさ、定時性、乗り換え環境、バス待ち環境 など
- 質の高いサービス 快適性、速達性、料金システム、バリアフリー、案内表示 など
- 都心の魅力向上 まちのシンボル、乗りたくなるデザイン など
- 快適な都市環境 環境負荷の軽減、人と公共交通優先の空間 など
- 持続可能なまちづくり 公共交通体系の再構築、まちなか活性化 など

第1期BRT運行開始

- 連節バス まちのシンボル、輸送力向上、路線バス集約効果 など
- 交通結節点 移動距離が短く雨風を気にしない乗り換え、わかりやすい案内表示 など
- 情報案内システム 安心して待てる、快適に利用できる など
- その他 時刻表を気にしない運行頻度、シンボル性のある停車駅 など

第1期BRTの機能向上

- 連節バス4台の追加導入による集約・効率化を推進、青山結節点の機能を向上するほか、定時性・速達性などの向上のために新潟駅～古町間の道路中央部への専用走行路設置を目指す。

第2期導入区間への展開

- イベント時において新潟駅南口から鳥屋野潟南部方面において連節バス走行しつつ、新潟駅高架下交通広場の供用の目途がつくころに、LRT (Light Rail Transit : 次世代型路面電車システム) への移行について社会環境を考慮し判断。

基幹公共交通軸を中心とした公共交通ネットワークの形成

- 環状型の公共交通軸を形成しながら、各地域内の交通と都心へのアクセス交通を充実させ、環状線につなぎ、すべての地域の方がまちなかの様々な機能を使いやすいまちへ。



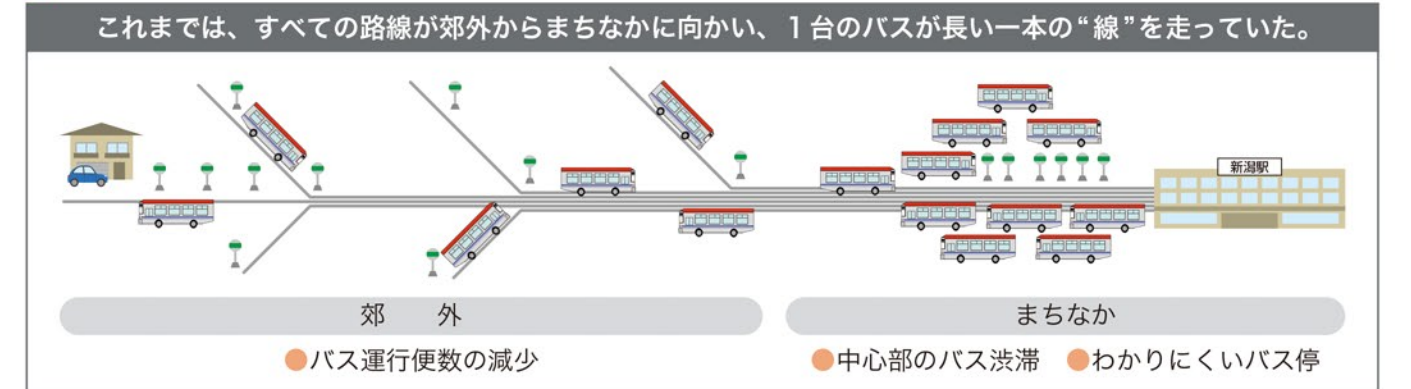
■今後の展開イメージ

BRTを含めた新バスシステムによる持続可能な公共交通

新バスシステムとは

多くのバス路線がまちなかで重複していた区間を、BRTの導入により集約・効率化し、それにより生じた余力(車両や運転手)を郊外に投資し、郊外路線の増便や路線の新設を含めたバス路線の再編を行うことで、将来にわたって持続可能な公共交通体系を目指す。

■新バスシステムのねらい



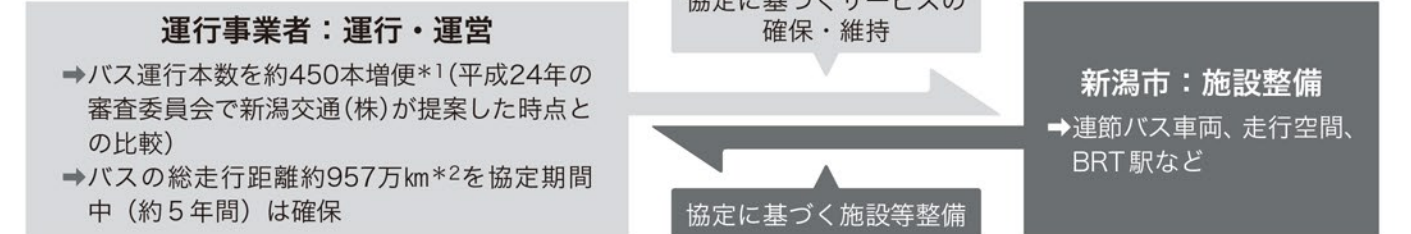
BRT導入とバス路線再編により



事業スキーム「公設民営方式」

新バスシステムの取り組みは、BRTの施設整備など初期投資に関する事項は新潟市が担い、運行や運営といった事項は、審査委員会を通じて選定された運行事業者である新潟交通(株)が担う「公設民営方式」で進めており、それぞれの役割分担や責務は、運行事業協定の中で明確にしている。

■公設民営方式の事業スキーム



*1 平成27年9月5日新バスシステム開業時点
*2 平成26年3月16日ダイヤ改正における年間走行キロ計画値